

11節 VS 慶應大戦 プレビュー



写真：織原祥平

連敗からの脱出なるか

前季リーグ最終節は、これまで駒大が苦手としてきたパスサッカーが持ち前の慶應大との対戦となる。リーグ戦5位につける慶大は直近4節の3連勝を含め3勝1分けと波に乗っている。

優れた技術を持つタレントを多くそろえる慶大。中でも中盤の手塚朋克を起点としたゲームメイキングと、ストライカーの山本哲平や田中健太との連携も確立され毎試合2得点以上を奪う攻撃サッカーを展開する。直近6試合で守備に難を抱える駒大だけにDFのかかる負担は前節以上になる。

駒大の守備陣に目を向けると、中央のDFは基本的に星と宮坂のコンビである。星は持ち前の積極性でプレスを仕掛けることに秀でているが、その積極性ゆえに裏を取られることもしばしばある。ゴール前でのパス回しが予想される今節は『裏を取られない』ための守備が大きな要素となってくる。そのクオリティは宮坂瑠のカバーリングセンスにかかっている。(柴崎拓見)

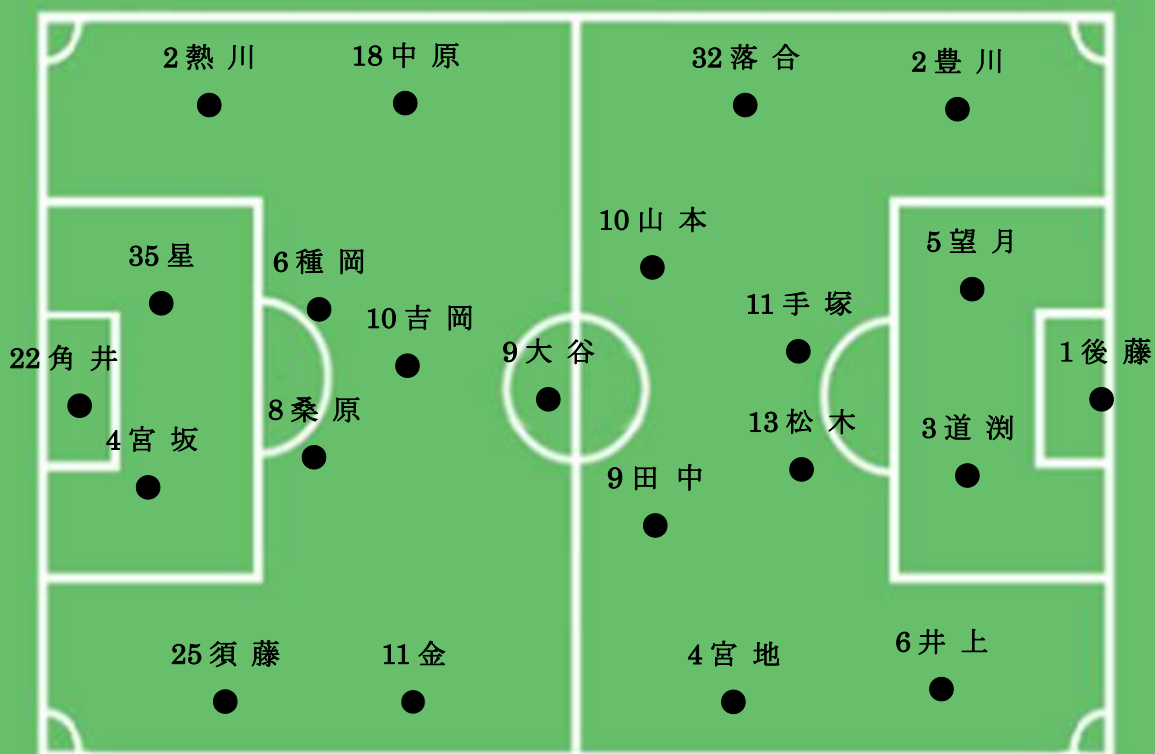
Pick up player



DF 宮坂瑠

慶應大戦予想スタメン

駒
澤
大
学



慶
應
義
塾
大
学

※予想スタメンは過去の公式記録を基に作成しております。